

ジムニー用ボルトオンターボ取り付け時の注意事項

<必ずお読みください！>

ジムニー用ボルトオンターボについて、ボルトオンターボ専用TUNING ECUと併用する場合は、**必ずピークブースト圧が $1.2 \times 100\text{kPa}$ 以下**になるように、アクチュエーターのターンバックルを調整してください。

ボルトオンターボのアクチュエーターロッドのターンバックルを調整しないまま、ボルトオンターボ専用TUNING ECUに書き換えて走行した場合、ピークブースト圧は $1.2 \times 100\text{kPa}$ を超えてしまいます。ピークブースト圧が $1.2 \times 100\text{kPa}$ を超える状態で使用を続けると、エンジンの不具合や、エンジンまたはターボチャージャーの破損の原因となります。

弊社では車両のエンジンやターボの故障・不具合についての一切の責任を負うことができませんので、予めご了承ください。

- ※ ブースト圧の確認は社外のブースト計、もしくはOBDモニター機器を使用してご確認ください。
- ※ ボルトオンターボと純正ターボ用TUNING ECUではセッティングが合わないため併用できません。
- ※ 純正ECUにPowerCon、PowerThroと併用する場合は、ターンバックルの調整は必要ありません。

<ターンバックル調整方法>

- ① アクチュエーターのイニシャル圧を測定してください。(要:ゲージ付きハンディポンプ)
工場出荷時のイニシャル圧は約 $0.7 \times 100\text{kPa}$ となっています。
ハンディポンプを使用しない場合はターンバックルのネジ部の寸法をスケールで測定してください。

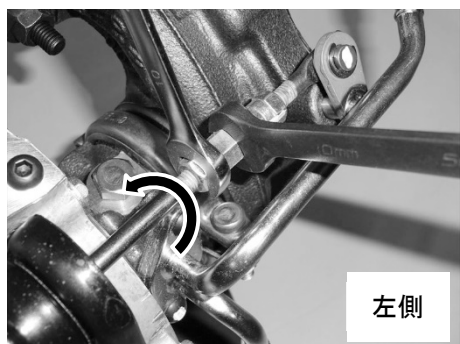


ハンディポンプで測定する場合、アクチュエーターの2つのニップルの片側を塞ぎ、もう片側にハンディポンプのホースを接続してください。



ターンバックルのネジ部はターボチャージャーごとに寸法が異なりますので、現品を測定してください。

- ② ターンバックル両端のロックナットを緩めてください。
ロックナットは左右共に同じ向きに回すことで緩みます。



左側



右側

- ③ ターンバックルの調整ナットを下記写真の矢印の向きに回してアクチュエーターロッドを緩めてください。調整ナットを約180°を目安に緩めてください。



- ④ バキュームポンプを使用する場合は、イニシャル圧が約 $0.55 \times 100\text{kPa}$ になるように調整してください。両側のロックナットを締め付けてください。
バキュームポンプを使用しない場合は、調整前にスケールで測定したターンバックルのネジ部の寸法が0.5mm長くなっていることを確認してください。



- ⑤ 実走行にてブースト圧が $1.2 \times 100\text{kPa}$ を超えないことを確認してください。
ブースト圧が $1.2 \times 100\text{kPa}$ を超える場合は、 $1.2 \times 100\text{kPa}$ を超えないように微調整を行ってください。

株式会社ブリッツ サポートセンター
〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6
TEL 0422-60-2277